

2020年3月27日

各 位

株式会社大和証券グループ本社
大和エネルギー・インフラ株式会社

**ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL
(岩見沢・釧路太陽光発電所) の販売等に関するお知らせ**
～持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向け貢献～

このたび大和証券グループは、大和エネルギー・インフラ株式会社(以下、「大和エネルギー・インフラ」という)の組成する「北海道メガソーラー私募ファンド」が行う資金調達に関連し、グリーンボンド(ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権(岩見沢・釧路太陽光発電所))の引受・販売及びグリーンローン(ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託 ABL(岩見沢・釧路太陽光発電所))の媒介を行いますので、その概要についてお知らせいたします。

大和エネルギー・インフラは大和証券グループ本社 100%出資の子会社であり、SDGs×テクノロジーの観点に基づいたエネルギーへの投融資推進による未来社会創造の支援を目的として発足しました。大和エネルギー・インフラは2018年に営業を開始しており、再生可能エネルギー、インフラストラクチャーおよび資源分野への投融資を通じた「新たな価値」の提供とSDGsへの貢献をめざし、投資残高の約5割(2019年9月現在)を国内外の太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーに投資しており、同分野への積極的な投融資を今後も継続する予定です。

ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL は、株式会社日本格付研究所(以下、「JCR」という)より2020年3月27日付でAの本格付を取得しており、当該資金が太陽光発電設備の取得資金に充当されることから、同日付でJCRよりGreen1の本評価を取得しております。

大和証券グループは、過去10年以上にわたる継続的な商品の開発と提供を通じて、社会課題の解決や未来の社会および金融・資本市場の発展に寄与すべく尽力してまいりました。また、代表執行役社長 中田誠司を委員長とした『SDGs推進委員会』を設置し、グループ横断的にSDGsへの取り組みを進めております。今回のダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託ABLの販売又は媒介はそうした取り組みの一環であり、当社グループは今後も、SDGs達成に向けて貢献するとともに、投資家の皆さまに新たな投資機会を提供してまいります。

大和証券グループ

■ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL の概要

名称	ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL (岩見沢・釧路太陽光発電所)
資金調達額	41 億円
払込日	2020 年 3 月 27 日
信託終了日	2036 年 6 月 30 日
資金使途	太陽光発電設備の取得資金等

■裏付資産（太陽光発電事業）の概要

発電所名	岩見沢太陽光発電所	釧路益浦太陽光発電所	釧路望洋太陽光発電所
所在地	北海道岩見沢市上幌向町	北海道釧路市益浦	北海道釧路市桜ヶ岡
発電事業者	合同会社北海道再エネ推進プラットフォーム		
パネル容量	約 9MW	約 2MW	約 1MW
売電開始時期	2016 年 2 月	2014 年 11 月	2014 年 11 月

以 上